

平成30年度

田原市のまちづくり

2月27日(火)に開会した田原市議会第1回定例会の冒頭、山下政良市長は、平成30年度の市政運営を明らかにする施政方針を説明しました。平成30年度予算案も原案どおり可決されましたので、施政方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。



《施政方針の要旨》

わが国では、大都市への人口集中に歯止めがかからず、総人口の1割以上が東京都の人口となっています。この他、私たちの暮らす愛知県も人口の集中地区となっています。

しかし、県内においては、尾張・西三河地域への人口集積は続くものの、東三河地域、とりわけ、山間部や太平洋沿岸地域は、年々人口減少が続いています。

こうした中、本市の財政状況は、中期財政計画のとおり、法人市民税率の引き下げや、合併算定替の縮減による地方交付税の減少、固定資産税などの減収に伴い、大変厳しい状況にあり、リーマンショック以降、回復基調にあった歳入も、平成32年度には250億円台にまで減少することが予想されています。

予算規模が収縮する中、難しい舵取りではありませんが、限られた財源を効果的に生かし、「田原市改定版第一次総合計画」に掲げる将来都市像の実現と、「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」によるさまざまな地域活性化策を推進し、「元氣な渥美半島づくり」を目指します。

* * *

ピョンチャン平昌の冬季五輪では、日本選手もかつてない好成績を残しました。政治体制、宗教、人種などを超え、同じフィールドで力の限り競技する姿を見て、スポーツの素晴らしさ、影響力の大きさを感じました。

今年9月には、本市で国際サーフィン連盟主催の「ワールドサーフィンゲームス」の開催を予定しています。今回の大会を、単なる一過性のものとして終わらせず、サーフィンというスポーツを起爆剤として、

サーフタウン構想をはじめ、産業、教育、福祉、そして活力あるまちづくりへとつなげるため、市民の皆さんとともに、大会の成功を目指したいと考えています。

* * *
平成30年度は、総合計画も5年目、総合戦略も4年目の年となります。今年は、将来に向けた人口増施策、住み続けたいまちづくり、持続可能な地域づくりと行政基盤づくりの3点を市政運営の柱に掲げ、市民の皆さんと一丸となって取り組む所存です。

* * *
「風」と「波」は、渥美半島・田原市の「強み」を語る上で、欠かせないものです。「風」という資源を生かすことで、「環境にやさしく持続可能な都市イメージを持つ田原市」という評価を得ています。

また、世界に誇るべき「波」があつてこそ、田原市に、今回、ワールドサーフィンゲームスがもたらされることにもなりました。出場する選手の皆さんが、果敢に「波」に立ち向かい、巧みに「波」を捉え、華麗に「波」に乗るように、田原市を全国に、そして世界に向かって、アピールする一年にしていきたいと思います。

* * *

厳しい財政状況に直面していく中ではありませんが、田原市のさまざまな強みを最大限に生かし、「世界に輝き」そして「将来につなぐ」ための予算として、平成30年度予算を編成しました。市民の皆さまの格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆施政方針の全文は、市HPでご覧いただけます。

010005002